

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・経営企画室

事業名	業務継続計画による減災対策の推進	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			4,617	16,565	9,102	
【目的】 大規模災害発生時において、必要最小限の業務を継続しつつ、目標期間内に一定水準までの復旧を終える。 とりわけ、災害等を想定した訓練を日頃から行い、得られた課題をマニュアルの見直しにつなげ、最新に状態にしておくことにより、災害対応業務や優先度の高い通常業務を、発災直後から迅速に実施する。 【内容】 ・通信手段の拡充等により導入した「テレビ会議システム」及び「MCA無線」を次年度以降も継続して運用する。 ・19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づく訓練のほか、他都市で実施されている訓練への参加(視察)を行う。 ・BCPに基づく訓練の実施 ・外部講師による危機管理研修の実施 【今年度要求のポイント】 平成28年度にはテレビ会議システムを、29年度にはMCA無線を導入し、災害時における通信手段を充実させた。 平成30年度には、災害時の通信手段を拡充するため、包括的民間委託を行っている、竹城台下水道サービスセンター、美原下水道サービスセンター、及び石津水再生センター(石津下水処理場)の3拠点に追加導入する。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
	H ~ H					
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	テレビ会議システムに係るリース費用	2,440	3,842	3拠点増台		
	防災行政無線修理負担金	1,000	1,000			
	MCA無線導入費	12,000	2,980			
	19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づく訓練ほか	1,125	1,280			
	合計	16,565	9,102			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
通信手段の導入 ・TV会議システム(H28・8拠点) ・MCA無線(H29・104台) 組織改正に伴うBCP見直し		【30年度】 通信手段の拡充 ・テレビ会議システム(3拠点追加) BCPIに基づく訓練の実施	【今後予定(31年度～)】			
その他 特記事項						
関連事業：						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 7-2

局・課名： 上下水道局・経営企画室

事業名	双方向コミュニケーションの確立 ・お客様との協働体制の拡充	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額																																
		330	1,000	732																																	
【目的】 上下水道事業の取組や料金等についてお客さまの理解を得るとともに、事業に参加いただくことで、お客さま視点を効率的かつ効果的に事業運営に反映させることで、お客さまとのパートナーシップを形成し、お客さまサービスを向上する。 【内容】 ・堺市水循環学習講座「みずからセミナー」、その修了者を対象としたワークショップを開催するなどし、上下水道応援団「すいちゃんサポーター」を拡充していく。 ・広報プロジェクトによる、新たな広報の企画・実施。 ・お客様の声の集約及び分析・広聴体制の整備 ・その他市政モニター制度等を活用した広報・広聴活動の推進 【今年度要求のポイント】 平成28年度から実施している堺市水循環学習講座「みずからセミナー」について、効率化を図る。その上で、ワークショップ等を通じ、お客さまが局の応援団(サポーター)となるよう協働体制の拡充に向けた取組を進める。 広報プロジェクトによる活動を本格化させていき、新たな手法による広報の企画、実施していく。 そのほか、平常時・非常時における広報広聴体制の強化を図る。	債務負担行為 期間 H ~ H 主な要求内容 (単位:千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 10%;">29年度予算</th> <th style="width: 10%;">30年度要求額</th> <th style="width: 50%;">内容・積算等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー、ワークショップ関係(バス代、記念品等)</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td style="text-align: center;">732</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td style="text-align: center;">732</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	セミナー、ワークショップ関係(バス代、記念品等)	1,000	732																										合計	1,000	732	
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等																																	
	セミナー、ワークショップ関係(バス代、記念品等)	1,000	732																																		
	合計	1,000	732																																		
スケジュール(経過及び今後展開)																																					
【経過(～29度)】 堺市水循環学習講座(水からセミナー)の開催(H28～) サポーター制度を用いたワークショップの開催(H29～)		【30年度】 ・広報プロジェクトによる、新たな広報の企画の実施。 ・お客様の声の集約及び分析・広聴体制の整備		【今後予定(31年度～)】 広報・広聴活動の継続実施																																	
その他 特記事項																																					
関連事業：																																					

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 7-2

局・課名： 上下水道局・営業課

事業名	債権回収の強化	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			462,887	638,366	713,300	
【目的】 公平公正な徴収業務の更なる充実による経営基盤の強化 【内容】 事業概要 1 水道料金及び下水道使用料の徴収 2 水道料金及び下水道使用料の滞納整理並びに債権管理 3 水道料金及び下水道使用料の滞納事案に係る法的措置等 4 水道料金の滞納事案に係る給水停止 5 水道料金及び下水道使用料の減免、更正、過誤納金の処理等 【今年度要求のポイント】	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		H ~ H				
		主な要求内容		(単位:千円)		
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
		検針・徴収等業務	638,366	713,300	弁護士費用含む	
		合計	638,366	713,300		
		スケジュール(経過及び今後展開)				
	【経過(～29年度)】 <small>水道メーター検針・料金徴収等業務(統合した検針・収納等業務及び上下水道局総合コールセンター業務)の履行開始 委託業者管理の見直し</small>	【30年度】 水道メーター検針・料金徴収等業務の履行 口座振替推奨業務の実施	【今後予定(31年度～)】 水道メーター検針・料金徴収等業務の履行 口座振替推奨業務の実施			
	その他 特記事項					
	関連事業： ・水道メーター検針・料金徴収等業務 平成29年4月～平成34年9月 ・水道料金等弁護士対応未収金回収業務 平成29年4月～平成32年3月					

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 7-1

局・課名： 上下水道局・給排水設備課

事業名	水洗化促進	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			767	12,181	5,727	
<p>【目的】</p> <p>下水道接続率（水洗化率）を向上させることにより、下水道使用料収入を確保し、安定した経営基盤の構築に努めるとともに、公衆衛生向上及び公共用水域の水質保全を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>・供用開始後、下水道未接続の家屋に対して、速やかな接続を促進するため、戸別訪問による接続確認と水洗化促進を行う。また、水道開栓時において、下水道未接続の家屋に対する接続確認を実施する。 ・汚水排水量の多い事業者等に対する水洗化促進を図るため、実効性のある啓発を行う。 ・長期未水洗建物に対しても啓発を行い、水洗化を促進する。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>・業務委託による、公示後3年目を迎える未水洗建物への水洗化促進について、居住者等との面談率向上のために、面談ができなかった建物への訪問回数や訪問日時・曜日を工夫するなど、より踏み込んだ水洗化促進を行う。 ・長期未水洗建物所有者への水洗化意識の希薄化防止と指定工事業者制度の周知を図る。</p>	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間 H ~ H</p>	要求額(千円)				
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	水洗化促進業務	9,504	4,007	未水洗建物への促進		
	供用開始日データ作成業務	789	810	水洗化促進付帯業務		
	水洗化促進結果入力業務	1,156	659	「水洗化促進業務」成果物をシステムに反映させる		
	「水道メーター検針・料金徴収等業務」報奨金	500	50	業務委託者が水道開栓時以外で公共下水道の無届接続を発見した時の報奨金		
	水洗化促進啓発チラシ	130	90	水道メーター検針時に投函するチラシ		
	特定記録郵便料金	102	111	[改造通知書]等送付		
	合計	12,181	5,727			
スケジュール(経過及び今後展開)						
<p>【経過(～29年度)】</p> <p>大口事業者への文書による指導 業務委託による未水洗建物への水洗化促進の訪問 (H29年度予算要求: 1300件) 業務委託による長期未水洗建物への促進 文書投函による水洗化啓発 業務委託による水道開栓訪問時の接続調査</p>		<p>【30年度】</p> <p>大口事業者への文書による指導 業務委託による公示後3年目の未水洗建物への水洗化促進の訪問 (H30年度予算要求: 600件) 業務委託による長期未水洗建物への促進 文書投函による水洗化啓発 業務委託による水道開栓訪問時の接続調査</p>		<p>【今後予定(31年度～)】</p> <p>選択と集中の観点から、水洗化が見込まれる対象に対して集中的に取組む。</p>		
その他 特記事項						
<p>関連事業： 営業課「水道メーター検針・料金等徴収業務」委託</p>						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7

局・課名： 上下水道局・水道建設管理課

事業名	幹線管の更新	事業費(千円)		平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額																				
				2,341,840		2,792,000	2,941,500																			
【目的】 経年劣化(法定耐用年数を経過した管路の内、老朽化したもの)が進んでいる幹線管を耐震管で更新することにより、震災時の機能確保と漏水事故を未然に防止する。 【内容】 水道幹線管路腐食進行度評価結果に基づき、効率的に幹線管の更新を行う。 平成30年度は、御池台系・家原寺系等、幹線管7.2kmを更新する見込みである。 【今年度要求のポイント】	債務負担行為 期間 H30 ~ H31 主な要求内容 (単位:千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 10%;">29年度予算</th> <th style="width: 10%;">30年度要求額</th> <th style="width: 60%;">内容・積算等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幹線管更新事業</td> <td style="text-align: right;">2,752,000</td> <td style="text-align: right;">2,941,500</td> <td>御池台系幹線管等、更新延長7.2km</td> </tr> <tr> <td>緊急連絡管整備事業</td> <td style="text-align: right;">40,000</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>企業団との緊急連絡管(田園)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※配水支管(φ300mm以下)の緊急連絡管は、配水支管(φ300mm以下)の更新で予算要求。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">2,792,000</td> <td style="text-align: right;">2,941,500</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	幹線管更新事業	2,752,000	2,941,500	御池台系幹線管等、更新延長7.2km	緊急連絡管整備事業	40,000	0	企業団との緊急連絡管(田園)				※配水支管(φ300mm以下)の緊急連絡管は、配水支管(φ300mm以下)の更新で予算要求。	合計	2,792,000	2,941,500		要求額(千円)		1,779,560		
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等																					
		幹線管更新事業	2,752,000	2,941,500	御池台系幹線管等、更新延長7.2km																					
		緊急連絡管整備事業	40,000	0	企業団との緊急連絡管(田園)																					
					※配水支管(φ300mm以下)の緊急連絡管は、配水支管(φ300mm以下)の更新で予算要求。																					
合計	2,792,000	2,941,500																								
スケジュール(経過及び今後展開)																										
【経過(～29年度)】 ・平成28～29年度 延長12.1km更新(見込みを含む)		【30年度】 ・幹線管更新 延長7.2km 実施設計、ボーリング調査 ほか		【今後予定(31年度～)】 ・平成31～32年度 幹線管更新 延長8.9km 実施設計、ボーリング調査 ほか																						
その他 特記事項																										
関連事業：																										

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水道サービスセンター

事業名	配水支管(φ300mm以下)の更新	事業費(千円)		平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
				1,609,253	2,408,600		2,967,700
【目的】 法定耐用年数(40年)を超過し経年劣化(法定耐用年数を超過した管路の内、老朽化したもの)した配水支管について、延命化を図りつつ、計画的に更新し耐震化することで施設を健全に保つ。 【内容】 法定耐用年数(40年)を超過し経年劣化した配水支管を、計画的に更新し耐震化を図る。 平成30年度は、優先耐震化路線の構築事業を含み、22kmの配水支管の更新を予定 事業概要 水道施設損傷等事故時に近隣事業体と水道水を相互融通できるよう、平成30年度は、和泉市と緊急連絡管を設置するために本市部分を施行する。 【今年度要求のポイント】 漏水事故の発生による影響が大きい路線や、他部署と施工調整を行い、効率的に水道工事後の舗装を行うことができる路線を選定し、施行する。 和泉市との緊急連絡管を施行する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)			
		H30 ~ H31		1,571,800			
	主な要求内容				(単位:千円)		
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等			
	配水支管更新	2,408,600	2,967,700	下水道整備等に伴う移設での更新を含む			
	合計		2,408,600	2,967,700			
スケジュール(経過及び今後展開)							
【経過(～29年度)】 堺市水道ビジョンに基づき、優先耐震化路線の構築事業を含み、22kmの配水支管を更新 ・松原市との緊急連絡管を設置		【30年度】 堺市水道ビジョンに基づき、優先耐震化路線の構築事業を含み、22kmの配水支管を更新 ・翌年度に和泉市との緊急連絡管を設置できるよう、堺市が先行施行		【今後予定(31年度～)】 堺市水道ビジョンに基づき、優先耐震化路線の構築事業を含み、22kmの配水支管を更新 ・平成31年度に前年施行箇所を含め、2か所で和泉市との緊急連絡管を設置			
その他 特記事項							
みんなの審査会対象外 関連事業： 優先耐震化路線の構築							

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水道サービスセンター

事業名	優先耐震化路線の構築	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
					1,419,369	1,106,400
<p>【目的】</p> <p>小中学校・高等学校等の避難所や病院等までの特定の配水支管を優先的に耐震化することによって、地震発生時にも給水を確保する。</p> <p>【内容】</p> <p>事業概要 大規模な地震発生時に避難所等への給水を確保するために、幹線管から分岐して避難所等までの特定の管路を優先耐震化路線と位置づけて耐震化する。 平成30年度は、5.9kmの整備を予定</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>優先耐震化路線の耐震化率は、平成29年度末で70%を見込んでおり、平成30年度に5.9kmを施工し、平成31年度末での優先耐震化路線の耐震化率79%を目指す</p>	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
		H30～ H31		596,000		
	主な要求内容			(単位:千円)		
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	優先耐震化路線の整備	1,106,400	1,073,700	5.9kmの整備		
合計		1,106,400	1,073,700			
スケジュール(経過及び今後展開)						
<p>【経過(～29年度)】</p> <p>対象路線の内88.3kmが整備完了済みで、優先耐震化路線の耐震化率は70%となる見込み</p>		<p>【30年度】</p> <p>堺市水道ビジョンに基づき、5.9kmを整備 優先耐震化路線の耐震化率：75%となる見込み</p>		<p>【今後予定(31年度～)】</p> <p>堺市水道ビジョンの年次計画に基づき整備</p>		
その他 特記事項						
<p>みんなの審査会対象外 関連事業： 配水支管(φ300mm以下)の更新</p>						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	配水池の耐震化事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
		401,788	155,200	437,000		
<p>【目的】</p> <p>配水池は水道施設の中核として、震災時においても機能を保持することが必要なことから、計画的に耐震化事業を推進する。</p> <p>【内容】</p> <p>配水池の耐震化工事を計画的に実施する。 1池で運用している配水池を2池化することにより、安定給水の強化を行う。</p> <p>事業概要 配水池に緊急遮断弁及び、応急給水施設を設置することにより、災害時における応急給水の確保を図る。 平成30年度は、本年度に引き続き以下の工事等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩室高地配水池 超高池配水池築造工事(H28～H31完了) ・桃山台受水池耐震目地工事(H29～H30完了) <p>【今年度要求のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩室高地配水池の超高池を2池化するための新配水池築造工事を行う。(平成28～31年度) ・桃山台受水池の耐震性確保のための耐震目地工事を行う。(平成29～30年度) ・家原寺配水場配水池更新のための設計及び施工を行う。(平成30～35年度) 	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
	H30～ H35	3,926,284				
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	配水池耐震化事業	155,200	0			
	配水池耐震化事業	債務負担	437,000	岩室高地配水池、桃山台配水場など		
	合計	155,200	437,000			
スケジュール(経過及び今後展開)						
<p>【経過(～29年度)】 家原寺配水場配水池基本設計業務(平成28～29年度)</p>		<p>【30年度】 ・岩室高地配水池超高池築造工事(平成28～31年度) ・桃山台受水池耐震目地工事(平成29～30年度) ・家原寺配水場更新工事(平成30～35年度)</p>		<p>【今後予定(31年度～)】 ・岩室高地配水池超高池築造工事(平成28～31年度) ・家原寺配水場更新工事(平成30～35年度)</p>		
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水道サービスセンター

事業名	鉛製給水管の取替推進	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			50,412	72,000	62,000	
【目的】 水道水の安全性を高めるとともに、鉛製給水管からの漏水を未然に防止します。 【内容】 ・経年劣化(法定耐用年数を経過した管路の内、老朽化したもの)した配水支管の更新において、鉛製給水管が多く残存している路線を優先的に更新することで早期に鉛製給水管を解消する。(事業費は、配水支管の整備事業に含まれる。) ・配水支管の更新が当面の間計画されていない路線において順次鉛製給水管を解消する。(平成30年度270件見込) ・道路上の鉛製給水管の取替工事に要する費用の一部を補助金として助成する。(平成30年度 10件見込) ・鉛製給水管所有者に個別通知を実施する。(平成30年度4,400件見込・費用は漏水調査に計上) ※鉛製給水管解消・・・配水支管に接続されている鉛製給水管をポリエチレン管に取り替える行為 【今年度要求のポイント】 ・道路に残存する鉛製給水管の解消を図るため、単独取替事業を継続して実施する。 ・私道等に残存する鉛製給水管についても、解消に向けた取組を継続する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
		H30 ~ H31		10,000		
	主な要求内容			(単位:千円)		
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	鉛管の単独取替	70,000	60,000			
	鉛製給水管取替工事補助	2,000	2,000			
	合計	72,000	62,000			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～29年度)】		【30年度】		【今後予定(31年度～)】		
当該事業における道路上鉛製給水管 解消件数 平成27年度 262件 平成28年度 288件 平成29年度 298件(見込)		単独取替による鉛製給水管解消計画 件数 280件(補助金による解消10件含む) 鉛製給水管所有者に個別通知実施		当該事業で280件/年度 (補助金による解消10件含む)		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外 関連事業：						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	電源の確保	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額																																		
					6,235	755	1,400																																
<p>【目的】</p> <p>自家発電設備の整備等により、災害時等の断水時間を短くする。 配水管理センターに自家発電設備を設置することで、災害時等における上水道施設の拠点としての機能を確保する。</p> <p>【内容】</p> <p>平成30年度は以下の工事、及び保守点検を実施する。 ・配水管理センター自家発電施設設置工事 ・岩室高地配水池自家発電設備設置工事(事業費は、配水池の耐震化事業に計上) ・陶器配水場、家原寺配水場、菅生配水池における自家発電設備保守点検</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>配水管理センター及び岩室高地に自家発電設備を設置し安定給水を確保する。 陶器配水場、家原寺配水場、菅生配水池における自家発電設備の保守点検を実施する。</p>	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間 H30～ H31</p> <p style="text-align: right;">要求額(千円) 321,800</p> <p style="text-align: center;">主な要求内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">項目</th> <th style="width: 10%;">29年度予算</th> <th style="width: 10%;">30年度要求額</th> <th style="width: 40%;">内容・積算等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自家発電設備・移動電源車点検整備</td> <td style="text-align: center;">755</td> <td style="text-align: center;">1,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">755</td> <td style="text-align: center;">1,400</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	自家発電設備・移動電源車点検整備	755	1,400																		合計	755	1,400		<p>スケジュール(経過及び今後展開)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">【経過(～29年度)】</th> <th style="width: 33%;">【30年度】</th> <th style="width: 33%;">【今後予定(31年度～)】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>菅生配水池に自家発電設備を設置(H28)</td> <td>菅生配水池ほか自家発電設備保守点検 配水管理センター自家発電設備設置(H30～H31) 岩室高地配水池自家発電設備設置(H30～H31)</td> <td>配水管理センター自家発電設備設置(H30～H31) 岩室高地配水池自家発電設備設置(H30～H31)</td> </tr> </tbody> </table>				【経過(～29年度)】	【30年度】	【今後予定(31年度～)】	菅生配水池に自家発電設備を設置(H28)	菅生配水池ほか自家発電設備保守点検 配水管理センター自家発電設備設置(H30～H31) 岩室高地配水池自家発電設備設置(H30～H31)	配水管理センター自家発電設備設置(H30～H31) 岩室高地配水池自家発電設備設置(H30～H31)
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等																																		
		自家発電設備・移動電源車点検整備	755	1,400																																			
合計	755	1,400																																					
【経過(～29年度)】	【30年度】	【今後予定(31年度～)】																																					
菅生配水池に自家発電設備を設置(H28)	菅生配水池ほか自家発電設備保守点検 配水管理センター自家発電設備設置(H30～H31) 岩室高地配水池自家発電設備設置(H30～H31)	配水管理センター自家発電設備設置(H30～H31) 岩室高地配水池自家発電設備設置(H30～H31)																																					
<p>その他 特記事項</p>																																							
<p>関連事業：</p>																																							

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	配水池の維持管理	事業費(千円)	平成28年度決算額 0	平成29年度予算額 8,099	平成30年度要求額 25,518	
		債務負担行為	期間 H ~ H	要求額(千円)		
事業概要	<p>【目的】 配水池の定期点検(目視による内面調査)及び内部劣化度調査(試験による調査)を実施し、適正管理することで配水池の長寿命化を実現させ、安全かつ安定した良質な水道水を供給する。</p> <p>【内容】 ・浅香山配水場No.3配水池および晴美台配水場No.1-35池について、劣化度調査を行う。 ・岩室配水場No.2、No.3配水池、桃山台配水場No.2受水池について、清掃時に職員による定期点検を行う。</p> <p>【今年度要求のポイント】 ・浅香山配水場No.3配水池の劣化度調査(試験による調査)の発注を行うが、内面塗膜のアスベスト含有を想定し劣化度調査時の飛散防止対策を見込んでいる。(アスベスト調査は別途発注予定) ・内面塗膜にアスベスト含有が判明し飛散防止対策が必要なため発注を延期した晴美台配水場No.1-35池の劣化度調査を</p>		主な要求内容 (単位:千円)			
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
		配水池内部劣化度調査業務	8,099	25,518	2池を調査、アスベスト飛散防止対策含む	
		合計	8,099	25,518		
スケジュール(経過及び今後展開)						
<p>【経過(～29年度)】 晴美台配水場No.1-35池の劣化度調査は、内面塗膜にアスベスト含有が判明し飛散防止対策が必要なため発注を延期</p>		<p>【30年度】 ・浅香山配水場No.3配水池および晴美台配水場No.1-35池内面調査業務(H30委託)</p>		<p>【今後予定(31年度～)】 ・陶器配水場No.2配水池内面調査業務(H31委託)</p>		
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	機械・電気・計装設備の更新	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			499,941	49,309	41,140	
【目的】 機械・電気・計装設備を計画的に更新することにより、施設の健全度が保たれ、安定した給水ができる。	【内容】 劣化した設備を更新し安定給水を図る。また、設備の点検結果に基づき長寿命化を図る。 平成30年度は、岩室配水場で直流電源設備更新工事、家原寺配水場で流出流量計更新工事を行う。	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
			H30 ~ H31		372,600	
		主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
		機械・電気・計装設備更新工事	49,309	41,140		
		合計		49,309	41,140	
スケジュール(経過及び今後展開)						
		【経過(~29度)】 家原寺配水場、浅香山配水場、桃山台配水場にて設備更新	【30年度】 ・岩室配水場直流電源設備更新工事 ・家原寺配水場流出流量計更新工事	【今後予定(31年度~)】 桃山台配水場送水ポンプ改修など		
その他 特記事項						
【今年度要求のポイント】		岩室配水場の直流電源設備や家原寺配水場の流出流量計を更新し、安定給水を確保する。				
事業概要		関連事業:				

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 5-1

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	受水圧力を利用した送水システムの整備・小水力発電施設の設置(水道施設における温室効果ガス削減)	事業費(千円)	平成28年度決算額 0	平成29年度予算額 3,000	平成30年度要求額 501,466	
		債務負担行為	期間 H30～ H31	要求額(千円) 2,679		
【目的】 ・岩室配水場から高池用と超高池用のポンプで岩室高地配水池へ送水しているが、企業団が布設する河南連絡管に新分岐を設置し岩室高地配水池で企業団から直接受水することにより、CO2及び電力量を削減するとともに、岩室高地配水池が岩室配水場と新分岐の2系統受水となり、事故時のバックアップを可能にする。 ・陶器配水場に小水力発電設備を設置することで、CO2の削減と、発電した電力を売電することで収入を確保する。 【内容】 ・企業団の管整備に合わせて新分岐を設置し、高池で直接受水できるように管整備等を行う。 ・陶器配水場ほか電気設備設置工事など小水力発電設備設置に関する工事等を施工する。 ・小水力発電設備設置に関する工事等の発注 ・陶器配水場ほか電気設備工事(工期、平成31年3月15日まで) ・陶器配水場コントローラ盤改造外工事(工期、平成31年3月15日まで) ・水運用管理システムソフトウェア変更業務(履行期間、平成31年3月15日まで) 【今年度要求のポイント】 ・企業団による新分岐のための工事を平成30年度に実施する。 ・小水力発電設備設置に関する工事を平成30年度実施する。	主要要求内容		(単位:千円)			
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	陶器配水場ほか電気設備設置工事など	債務負担	500,386			
	新分岐設置の設計委託に伴う負担金	3,000	0			
	系統連携費用		1,080	電力会社への売電のための費用		
	合計	3,000	501,466			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～29年度)】 小水力発電設備設置に関する工事(陶器配水場ほか電気設備設置工事など)や委託業務の契約		【30年度】 小水力発電設備設置に関する工事の施工		【今後予定(31年度～)】 堺市による受水管布設、企業団による負担金工事など		
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	水質の管理	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			37,260	129,391	55,994	
【目的】 水質監視の強化、水道GLPの認証を受けた水質検査体制の確保等により、安全でおいしい水をお客さまへ供給する。 【内容】 事業概要 ・水道GLPの認定を維持することで、水質検査を正確かつ精度よく実施し、信頼性の高い検査結果を得ることで、水道水の品質を維持し、お客さまへの信頼度を向上させる。 ・配水末端での配水管の滞留水の排水作業を行い、給水区域内の水質を保持する。(業務効率化のため、平成30年度から、この業務と水圧調査業務を一括発注する。) 【今年度要求のポイント】 ・給水区域内の水質を保持するため、配水末端での配水管の滞留水の洗浄排水作業を、委託業務として発注を行う。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		H30 ~ H32	87,386			
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	市内水質モニター設置工事	79,710	0			
	水質検査業務	18,459	12,301			
	配水管洗浄排水業務	31,222	43,693	平成30年度から水圧調査業務と一括発注するため、要求額には水圧調査業務分も含む。		
	合計	129,391	55,994			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
	【経過(～29年度)】		【30年度】		【今後予定(31年度～)】	
・水道GLPサーベイランス受審 ・水質モニターを2か所設置 ・配水管洗浄排水業務(H29委託)		・水道GLPの認証維持 ・配水管洗浄排水及び水圧調査業務(委託・債務負担H30～32)		・水道GLPの更新審査(H31) ・配水管洗浄排水及び水圧調査業務(委託・債務負担H30～32)		
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7 局・課名： 上下水道局・水運用管理課・水道サービスセンター

事業名	応急給水対策の強化		事業費(千円)		平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
					8,460	53,519	64,164	
事業概要	【目的】 市民生活に不可欠な水道・下水道の管理者として、災害に対する平時からの備えを充実することにより、災害対応力を強化し、もって市民生活の安全・安心の確保を図る。		債務負担行為 期間 H30 ~ H31		要求額(千円) 70,000			
	【内容】 ○応急給水対策の強化 ・災害時に応急給水活動を円滑に実施するために、給水基地(給水車等に水を補給するための施設)を整備します。 ・災害発生時に、避難所(小学校)敷地内の水道設備が破損した場合においても応急給水が実施できるように、耐震性を有した災害時給水栓を小学校に設置します。 ・「自助・共助」の力が育まれるよう、校区防災訓練等、市民が多く集まる場において、飲料水の備蓄を啓発していきます。 ・東日本大震災の教訓から交通障害を考慮し、災害用備蓄水の指定避難所への分散備蓄を継続して実施します。		主な要求内容 (単位:千円)					
			項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
			応急給水ポリ袋	6,545	6,545			
			災害用備蓄水製作負担金等	3,974	3,514	製作費、運搬費		
			災害時給水栓設置事業	28,000	28,940	小学校に災害時給水栓を設置		
			応急給水基地改修等	15,000	25,165	家原寺配水場改修など		
			合計	53,519	64,164			
スケジュール(経過及び今後展開)								
【今年度要求のポイント】 ・小学校に災害時給水栓を設置し、応急給水機能を確保します。 ・災害時に運搬給水の給水基地となる配水場等の応急給水基地の改修に着手し、応急給水活動の円滑化を図ります。 ・応急給水対策を強化するための取組を継続的に実施します。		【経過(～29年度)】 ・当該事業における災害時給水栓設置数 18件(見込) ・給水基地改修の基本設計を実施		【30年度】 ・当該事業における災害時給水栓設置計画数 20件 ・給水基地改修の実施設計及び施工を実施		【今後予定(31年度～)】 当該事業における災害時給水栓設置計画数 平成31年度 20件 平成32年度 17件 平成33年度 16件 ・給水基地改修工事の施工等		
その他 特記事項 みんなの審査会対象外 関連事業：								

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 其他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7

局・課名： 上下水道局・水道サービスセンター

事業名	水道管路の維持管理	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			526,341	632,816	648,649	
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
	水道管漏水修理の迅速な対応、漏水を早期発見し漏水量を抑制するための漏水調査、事故などの異常事態に対応するための弁栓類の保守点検、水管橋の点検業務等により長寿命化を図ることで、お客さまに安全安心な水道水を継続的・安定的に供給を行う。		H30 ~ H31	110,350		
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)				
	水道管からの漏水の修理などの維持管理を行う。 弁栓類の調査及び保守点検を行う。(調査150基) 水管橋の調査及び点検を行う。(調査138橋 塗覆装2橋) 漏水調査を実施する。(管路調査286km 戸別音調調査56,000戸)	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
		水道管の維持管理等	486,526	493,526	漏水修繕、修繕跡舗装費用	
		その他水道管路維持管理業務	146,290	155,123	漏水確認調査ほか業務等	
	【今年度要求のポイント】	スケジュール(経過及び今後展開)				
		【経過(～29度)】 H29～31年の複数年契約した水道管調査修繕業務(道路敷・敷地内)で当該業務を継続実施	【30年度】 H29～31年の複数年契約した水道管調査修繕業務(道路敷・敷地内)で当該業務を継続実施 弁栓類及び水管橋の調査点検、及び漏水調査の実施		【今後予定(31年度～)】 H29～31年の複数年契約した水道管調査修繕業務(道路敷・敷地内)で当該業務を継続実施	
	その他 特記事項					
	関連事業:					

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・下水道事業調整課

事業名	公共下水道の雨水対策事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
		6,812,581	7,660,100	3,746,700		
<p>【目的】</p> <p>市民の安心・安全な暮らしを確保するため、豪雨による浸水から市民を守ることは、下水道の役割の一つである。堺市は、時間約50mmの大雨に対応するための下水道施設を整備してきており、今後も危険度の高い地区を中心に、着実に対策を進めていく必要がある。</p> <p>【内容】</p> <p>・雨水整備事業・・・時間50mm対応の施設を優先的に整備すべき「重点地区(24地区)」への浸水対策事業を推進することとし、出島バイパス線、古川第2ポンプ場等の建設工事、雨水管布設実施設計業務等を実施。</p> <p>・総合的な治水対策・・・雨水貯留タンクの設置普及促進や、開発行為等の際に雨水流出抑制施設の設置指導を実施。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>平成30年度は、重点地区の雨水整備を引き続き実施することとし、出島バイパス線関連及び古川第2ポンプ場の建設工事(出島・西湊町周辺地区、戎島町周辺地区、神南辺町周辺地区)や、菅池幹線建設工事(黒山周辺地区)、黒山西雨水管建設工事(黒山西地区)、浅香山町雨水管建設工事(浅香山町周辺)を実施する。</p>	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
	H30 ~ H32	2,834,000				
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	雨水管整備(雨水調整池含む)	1,213,500	1,880,700	雨水管布設工事等		
	雨水ポンプ場整備	6,000,000	1,540,000	ポンプ場建設工事等		
	設計、移設補償費等	446,600	326,000	実施設計、移設補償費等		
	合計	7,660,100	3,746,700			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
	【経過(～29年度)】		【30年度】		【今後予定(31年度～)】	
<ul style="list-style-type: none"> ・重点地区雨水施設整備 ・雨水貯留タンク設置普及促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・重点地区雨水施設整備 ・雨水貯留タンク設置普及促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・重点地区雨水施設整備 		
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 5-2

局・課名： 上下水道局・下水道事業調整課

事業名	再生水送水事業の継続	事業費(千円)	平成28年度決算額 44,750	平成29年度予算額 50,352	平成30年度要求額 48,480
		債務負担行為	期間 H ~ H	要求額(千円)	
<p>【目的】</p> <p>下水再生水を有効活用することにより、潤いのある水辺空間と活力のあるまちを創出</p> <p>【内容】</p> <p>・鉄砲町地区において下水再生水の熱利用とせせらぎ用水利用を同時に行う「下水再生水複合利用事業」を継続実施。 ・三宝水再生センター(下水処理場)の高度処理水を堺浜地区に送水する「堺浜再生水送水事業」は利用者連絡会議の定期的な開催等により、情報交換・意見交換をする等、利用者と連携し事業を着実に推進する。 ・再生水の安定供給のため、水質管理と運転管理の最適化を図る。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>「堺浜再生水送水事業」、「下水再生水複合利用事業」に係る、再生水送水施設の維持管理を継続実施する。</p>	主な要求内容		(単位:千円)		
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
	再生水送水施設工事	15,000	15,000	H30年度に移行	
	保守点検、電力費、通信費等	35,352	33,480		
		合計	50,352	48,480	
スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～29年度)】 堺浜再生水送水事業開始(H21年) 下水再生水複合利用事業開始(H28年)		【30年度】 事業の継続実施		【今後予定(31年度～)】 事業の継続実施	
その他 特記事項					
関連事業:					

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7

局・課名： 上下水道局・下水道事業調整課

事業名	下水道地震対策事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			1,066,332	771,500	1,180,000	
【目的】 災害時に未処理の下水がまちの中にあふれたり、河川や海に流出したりすることもなく、衛生的な環境が保たれる等、震災に強いまちを実現。 【内容】 事業概要 ・重要な下水処理場施設の耐震・耐津波対策 ・重要な管きよの耐震対策 ・指定避難所等へのマンホールトイレの設置 【今年度要求のポイント】 石津水再生センター(下水処理場)の沈砂池の耐震補強工事、三宝水再生センターの高段ポンプ棟等の耐津波対策工事、緊急交通路下及び避難所からの排水を受ける管きよの耐震工事を引き続き実施する。マンホールトイレの設置に関しては、平成29年度をもって、設置を計画していた全市立学校への設置が完了した。今年度は、堺区役所へマンホールトイレを設置する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
		H ~ H				
	主な要求内容			(単位:千円)		
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	下水処理場、ポンプ場耐震化等	203,500	35,000	耐震補強工事等		
	管きよ耐震化等	528,000	1,135,000	管きよ耐震化工事等		
	マンホールトイレ設置等	40,000	10,000	マンホール型防災トイレ設置工事等		
	合計	771,500	1,180,000			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～29年度)】 ・重要な処理場施設・ポンプ場施設や管きよの耐震対策 ・マンホールトイレの設置		【30年度】 ・重要な処理場施設や管きよの耐震対策 ・マンホールトイレの設置		【今後予定(31年度～)】 ・重要な処理場施設・ポンプ場施設や管きよの耐震対策		
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号： 2-6

局・課名： 上下水道局・下水道施設課

事業名	設備のアセットマネジメント・下水道施設の アセットマネジメント(下水道処理場等施設改築事業)			事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額
					403,593	691,000	4,606,100
【目的】 計画的な改築更新を実施することで、下水道サービスを持続的に提供することを可能とし、下水道が安定的に機能するまちづくりを実現。	【内容】 事業概要 ・下水道処理場・ポンプ場施設の改築更新工事と必要な実施設計業務を実施。 ・堺市版アセットマネジメントシステム(設備)に基づき、次年度の改築更新事業を選定するとともに、点検データを蓄積。	債務負担行為 期間 H30 ~ H31	要求額(千円)		3,150,000		
			主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
		下水ポンプ場 設備更新工事等	28,000	450,000	更新工事		
		下水処理場 設備更新工事等	663,000	4,156,100	実施設計及び更新工事		
		合計	691,000	4,606,100			
		スケジュール(経過及び今後展開)					
		【経過(～29度)】 改築更新工事を継続実施	【30年度】 改築更新工事を継続実施	【今後予定(31年度～)】 改築更新工事を継続実施			
【今年度要求のポイント】 経年劣化が進行している施設・設備のうち、優先度・重要度の高い、泉北・石津水再生センター(下水道処理場)のプロウ設備及び泉北水再生センターの沈澱池設備の更新工事等を実施する。		その他 特記事項					
		関連事業：					

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 2-6

局・課名： 上下水道局・三宝水再生センター

事業名	設備のアセットマネジメント・下水道施設の アセットマネジメント(下水処理場等維持管理業務)	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
		3,027,600	3,856,261	3,921,317		
<p>【目的】</p> <p>計画的な維持管理を実施することで、下水道サービスを持続的に提供することを可能とし、下水道が安定的に機能するまちづくりを実現。</p> <p>【内容】</p> <p>下水処理場(水再生センター)、ポンプ場の適正な維持管理業務。 三宝水再生センター施設維持管理業務 豎川・古川下水ポンプ場施設維持管理業務 泉北水再生センター施設維持管理業務 石津水再生センター施設維持管理業務 など。 (施設の運転管理、保守点検、修繕等に関する委託)</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>泉北・石津水再生センターの施設運転管理は、引き続き包括的民間委託を実施し、効率化を図っている。 運転管理の工夫により、電力費・薬品費の削減を図るなど、省エネルギー化の取組みを継続実施する。</p>	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
	H30 ~ H32	92,000				
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	処理場維持管理費	1,712,356	1,800,476	処理場施設維持管理業務の委託料等		
	ポンプ場維持管理費	414,818	444,194	ポンプ場施設維持管理業務の委託料等		
	汚泥処理負担金	1,210,854	1,157,491	維持管理負担金、承継債務負担金		
	コンポスト化事業	518,233	519,156	コンポスト化事業委託料		
	合計	3,856,261	3,921,317			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
<p>【経過(～29年度)】</p> <p>三宝の施設維持管理は、29年度から3か年契約実施。石津・泉北水再生センター維持管理は、最終年度になり時期発注手続きを実施。 施設の健全度評価を実施</p>		<p>【30年度】</p> <p>三宝の施設維持管理は、2か年目を実施中。石津・泉北施設維持管理は、業務の見直しを含めた長期契約を締結する。 健全度評価に基づく、修繕計画の見直し</p>		<p>【今後予定(31年度～)】</p> <p>三宝の施設維持管理は、最終年度となる。石津・泉北の施設維持管理は、30年度から5か年の長期契約を実施。</p>		
その他 特記事項						
<p>関連事業:</p>						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 2-6

局・課名： 上下水道局・下水道管路課

事業名	下水道管きよのアセットマネジメント	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			579,650	1,132,513	1,636,899	
<p>【目的】</p> <p>下水道管きよの適切な維持管理により、日常生活や社会経済活動から発生する汚水を適切に排除し、大雨や震災等から生命と財産を守ることで、市民の安全・安心で快適な暮らし及び都市機能の保全を実現する。</p> <p>【内容】</p> <p>下水道管きよ(水路やマンホールポンプ施設等を含む)について、日常点検や市民からの要望等をもとに、清掃や修繕、事故対応等を行う。 管きよの老朽管調査(テレビカメラ調査等)を行い、不良箇所 の改築更新を実施。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>老朽管調査及び著しく劣化が進行している老朽管きよの改築更新工事を実施する。</p>	<p>債務負担行為</p> <p style="text-align: center;">期間</p> <p style="text-align: center;">H30 ~ H32</p> <p style="text-align: right;">要求額(千円)</p> <p style="text-align: right;">264,000</p>	(単位:千円)				
		主な要求内容				
	項目		29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
	下水道管の維持管理費		510,563	614,239	下水道管の修繕費や清掃費	
	改築更新工事		555,950	962,660	老朽管改築更新工事等	
	老朽管調査		66,000	60,000	老朽管調査業務	
	合計		1,132,513	1,636,899		
	スケジュール(経過及び今後展開)					
	<p>【経過(～29度)】</p> <p>老朽管調査及び改築更新工事を継続実施する。</p>		<p>【30年度】</p> <p>老朽管調査及び改築更新工事を継続実施する。 本年度の包括委託の発注に向けて、実績の検証及び仕様書への反映を行う。</p>		<p>【今後予定(31年度～)】</p> <p>老朽管調査及び改築更新工事を継続実施する。</p>	
	その他 特記事項					
関連事業:						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 2-6

局・課名： 上下水道局・下水道建設課

事業名	下水道施設の統廃合	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			1,240,600	185,000	455,000	
【目的】 処理場間ネットワークを段階的に構築することで改築更新の対象施設を重点化し、改築更新費を最低限に抑えることにより、下水道の持続的かつ安定的なサービスを提供する。 【内容】 事業概要 石津処理区内の一部を三宝処理区へ編入するための一部区間の管きよの設計・工事を実施 【今年度要求のポイント】 出島下水ポンプ場と古川第2ポンプ場間について、出島バイパス線への内挿管布設工事に着手する。 古川第2ポンプ場と三宝水再生センター(下水処理場)間について、ネットワーク管の実施設計を行う。	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
		H30 ~ H31		1,100,000		
	主な要求内容					(単位:千円)
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	処理場間ネットワーク	185,000	455,000	設計費および工事費		
		合計	185,000	455,000		
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～29年度)】 ・シールド工事の施工 ・完了後、下流側接続マンホール設置工 ・内挿管布設実施設計		【30年度】 ネットワーク管の設計・工事の施工		【今後予定(31年度～)】 ネットワーク管の工事の施工		
その他 特記事項						
関連事業：						

整理番号： - -

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 2-6

局・課名： 上下水道局・下水道建設課

事業名	里道・私道の汚水整備	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額
		453,651	249,500	330,500	
【目的】	日常生活や社会経済活動から発生する汚水が適切に排除・処理され、快適な暮らしを確保する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)
			H30 ~ H31		50,000
【内容】	里道、私道の未布設路線への啓発を行うことにより、私道公共下水道布設制度による布設決定及び私道排水設備工事補助金制度による普及促進を行う。	主な要求内容 (単位:千円)			
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等
事業概要		私道下水管布設調査啓発業務	3,000	3,000	合成図等の資料作成及び修正等
		私道排水設備工事補助金	82,000	184,000	補助金(私道等)
		里道・私道汚水整備	112,000	84,000	下水管布設工事
		設計、移設補償費、舗装工事等	52,500	59,500	実施設計等
		合計	249,500	330,500	
		スケジュール(経過及び今後展開)			
		【経過(～29度)】	【30年度】	【今後予定(31年度～)】	
		里道・私道汚水整備	里道・私道汚水整備	里道・私道汚水整備	
【今年度要求のポイント】	里道・私道部分の整備については地元との合意がとれた地区を優先的に実施するなど、重点的な汚水整備を進める。	その他 特記事項			
		みんなの審査会対象外 関連事業:			

整理番号： - -